

2015年6月26日、鹿児島県 南大隅町において、大雨による土砂崩れが発生。これにより、基地局の伝送路が切断され、周辺エリアが面的にサービス中断となった。さらに、NTT西日本の固定電話も災害の影響で不通となった。

この状況をうけ、ドコモはNTT西日本と共同で、自治体施設4ヶ所に連絡用の衛星携帯電話を設置し、現地における通信の確保措置を行った。

自治体施設への連絡用衛星携帯電話貸出

伝送路の断により携帯電話と固定電話がともに利用が出来ない状況では、設備復旧までの間の通信手段として、衛星携帯電話が有効である。理由は、衛星携帯電話は地上インフラへの依存度が小さく、被災地域において地上インフラを有さないからである。

災害発生の日中に、自治体施設4ヶ所へ連絡用の衛星携帯電話の設置を完了し、被災エリアに対して通信手段を迅速に提供した。



がけ崩れ現場の様相



設置した衛星携帯電話

衛星携帯電話を設置した施設



貸出先	貸出機器
竹之浦生活改善センター	衛星携帯電話2台(ドコモ設置)
郡集会施設	衛星携帯電話2台(ドコモ設置)
大泊公民館	衛星携帯電話2台(ドコモ設置)
南大隅町佐多支所	衛星携帯電話3台(NTT設置)